

様式第3号(第4条関係)

会 議 録

- 1 附属機関等の会議の名称 令和6年度第1回丹波篠山市総合計画審議会
- 2 開催日時 令和6年12月18日(水)15時00分から16時30分まで
*受付時間(14時45分から14時55分まで)
- 3 開催場所 丹波篠山市役所 本庁舎 3階 301会議室
- 4 会議に出席した者の氏名
 - (1) 委員 中塚 雅也、横山 宜致、山田 俊朗、谷川 智穂、前田 公幸、
畑 富貴枝、今井 めぐみ、大前 裕樹、小田垣 昇、藤本 清
仁、**廣瀬** 章江、大西 富美子、安部 梨杏、足立 弘美、西田
正志、西尾 雅子
欠席委員 森本 秀樹、田代 優秋、田中 一裕、小川 昌秀
(敬称略・順不同)
 - (2) 執行機関 竹見 聖司、藤田 尚位、西尾 友寛、竹内 一真
- 5 傍聴人の数 0人
- 6 議題及び会議の公開・非公開の別 公開
- 7 会議資料の名称
 - ・総合計画について **資料1**
 - ・第3次丹波篠山市総合計画後期基本計画の策定の基本方針について **資料2**
 - ・策定スケジュール **資料2-1**
- 8 審議の概要
 1. 開会
 2. あいさつ
【酒井市長】
本日は第1回目となる丹波篠山市総合計画審議会を開催したところ、ほとんどの委員の皆様にご出席をいただき大変感謝している。
市の総合計画は言うまでもなく、丹波篠山市のこれからのまちづくりの方向性を示す一番大切な計画である。
第3次丹波篠山市総合計画を令和3年度に策定してから5年を迎えることから、見直し

をしつつさらに前に進めていきたい。

委員の皆様は、市の各方面で大変ご活躍をいただいている方に集まっていただいております、それぞれの分野に関わらず、積極的にご意見をいただき計画の策定にご協力をいただきたい。

魅力あるまちづくりを進めて、市民が誇りを持って生活し、観光客にも来ていただくことで、観光だけでなく住みたい人も増えてくることから、このまちがこれから未来につながるよう若い人の定着を図る取り組みも進めていきたい。

来年はいよいよ丹波篠山国際博が開催されることから、これを機に全国に丹波篠山市のPRをして、国際博の目標である未来につながるような取り組みをしたいと思っていることから、総合計画についてもそういった観点から皆様にいろいろご指導をいただきたい。

3. 委嘱状交付

4. 自己紹介

5. 総合計画審議会について

6. 会長・副会長の選任

会長：中塚 雅也 委員

副会長：横山 宜致 委員

7. 諮問「第3次丹波篠山市総合計画の策定について」

8. 協議事項

(1) 総合計画について

【事務局】

資料1説明

【会長】

事務局の説明に対し、意見・質問等あるか。

意見・質問なし

(2) 第3次丹波篠山市総合計画後期基本計画の策定の基本方針について
策定スケジュール

【事務局】

資料2及び資料3説明

【会長】

事務局の説明に対し、意見・質問等あるか。

【A委員】

5 ページ目の「(2) 後期基本計画の策定」の四角枠に書いてある最後の3行に前期基本計画を基本にするが、「アフターコロナ」など新しい目線を追加削除修正するとあるが、この新たな視点というのはこの4つに限定せず、他の視点も入れて大丈夫か。

【事務局】

これは一つの例として記載している。コロナ禍によって生活様式が変わってきていることなどもあるため、記載されていること以外でも様々な視点でご意見を賜り、変えるべきところは変えていきたい。

【A委員】

観光の分野でいうと、この計画には外国人観光客のことが記載されたページがあるが、今はどちらかというユニバーサルツーリズムという車いすの方などでも観光を楽しめる環境づくりに丹波篠山市の観光は力を入れている。

そのユニバーサルツーリズムの中に外国人観光客も含まれることからこのページは大幅に変更したほうが良いと思われる。

【会 長】

具体的なことは次回以降の審議会で議論するが、そういったご意見を今後の審議会でしっかりと議論していきたい。

【B委員】

資料の5 ページ目に「施策実施状況のチェックシート」と記載されているが、これは事務局であらかじめチェックをして、今後の審議会でそのチェックシートを見せていただくという形になるのか。

【事務局】

「施策実施状況のチェックシート」については、39項目ある小目標に分けてシートを作成しており、事務局で確認作業を行った後に、委員の皆様に意見を聞くことを考えている。

審議会当日に資料をお渡ししてもすべての項目を審議会の中で確認することは難しいことから、事前に資料をお渡しさせていただき、各委員の専門分野を中心にご確認いただいでご意見をいただきたい。

【B委員】

市の政策全体を網羅するような計画なので、議論すべきところや論点を絞って提示していただくと議論しやすいと考える。

【事務局】

時間が限られている中でスムーズに議論ができるよう論点を整理した資料作成に努める。

【C委員】

審議会については、リモートでの参加も可能か。また、リモートでも出席が難しい場合、意見や提案する機会を別途設けていただけるのか。

【事務局】

現地での出席が難しい場合などは、リモートでの参加もできるよう日程調整させていただく。欠席される場合などは、事前にご意見等をいただけるような機会を設けさせていただく。

【D委員】

議論する範囲が広いため、それぞれの委員の分野別に議論をしてはどうか。例えば次回の審議会において、会の前半を分野別に議論する時間するなどそれぞれの委員の専門分野ごとに議論する時間を設けてはどうか。

【事務局】

検討させていただく。

【E委員】

資料1の2ページ目の一番下に参考として、実施している主な分野別計画と記載があるが、総合計画と分野別計画の方向性のすり合わせは、ある程度事務局で実施していただけるのか。

【事務局】

各分野別計画については、それぞれの計画策定時には必ずこの総合計画との整合を取るよう担当部局に対しては申している。ただし、改正のタイミングによっては、どちらの計画も同時進行で作業を進めていかないといけないケースもあることから、そのあたりのすり合わせも漏れが無いよう努めていく。総合計画は市の最上位計画であるため、整合性が取れるよう担当部局とも調整を行っていく。

【F委員】

分野別というのはどのくらい細分化された分野で考えておられるのか。

【事務局】

名簿に記載されている5つの分野を基本にしながら考えたい。

【G委員】

この会議に先だって、総合計画の冊子に対するアンケートがあったと思うが、その結果

はご提示いただけるのか。

【会 長】

事務局から事前にアンケートの集計結果を見せていただいたが、文字数が多いという意見や、見てもらいやすいデザインに変更したほうが良いという意見が多かった。後期基本計画のデザインを大幅に変更することは難しいかもしれないが、今の計画をベースに文字数を減らして、写真やイラストを増やすなど見てもらいやすい計画にしていく必要がある。

【G委員】

この計画書は策定した際に各戸に配布したのか。

【事務局】

総合計画の概要版を広報と一緒に配布した経緯はある。

【H委員】

総合計画を読んでみて教科書のような印象を受けたため、市民の方にとっては手に取って読んでもらいにくい冊子になっていると感じた。もう少し市民にも分かりやすいデザインにしていだけたら嬉しい。

【事務局】

総合計画は行政が政策を進めていく上での大事な指針ともなるので、ある一定の文字数は必要ではあるが、意見を踏まえて見てもらいやすくなるようにレイアウトやデザインなど変えられるところは変えていきたい。

【E委員】

総合計画の概要版について、次回の審議会で配布していただきたい。

【A委員】

読みにくいのはおそらく、「です・ます」調で書いてあることと、明朝体で書いてあるからだと思う。そのあたりを変えられるといいが。

【I委員】

総合計画は誰が読むかが大事。総合計画については前期から後期まで2030年までの間はこの計画が基本となっているので、前期が後期になったからと言って内容を大幅に変える必要はない。しかしながら、後期基本計画を策定して市民に周知するのであれば、概要版を市民向けにレイアウトをわかりやすい形にして配布すべきだと考える。

【会 長】

丹波篠山市では、この計画を市役所の職員がデザインも含めて全部自前で作成されてい

る。そのような自治体は全国でも珍しいと思われる。そのプロセスを通じて行政の職員が学びながら自分たちで文章を書いているということは評価できる。しかしながら、市民にとって見やすくわかりやすい計画になることも大事なことなので、バランスを取りながら策定作業を進めていきたいと考える。

9. その他

(1) 会議録の公開について

【事務局】

会議録について、氏名を公表する方式と氏名を伏せる方式があるが、過去の総合計画審議会の会議録と同様、氏名を伏せる方式で公開する方向で考えているが、何かご意見はあるか。

【全 員】

意見なし

10. 閉会

横山副会長あいさつ